



2024年10月10日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所
代表者名 代表取締役社長 竹内 敏也
(コード: 6432 東証プライム)
問合せ先 経営管理部長 堀内 厚志
(TEL 0268-81-1200)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年4月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、2025年2月期の期末の配当予想につきましては、前回予想から変更ありません。

記

1. 2025年2月期 通期連結業績予想 (2024年3月1日～2025年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 224,000	百万円 38,500	百万円 38,500	百万円 27,500	円 銭 576.91
今回修正予想 (B)	215,500	44,500	42,000	30,000	629.36
増減額 (B - A)	△8,500	6,000	3,500	2,500	—
増減率 (%)	△3.8%	15.6%	9.1%	9.1%	—
(ご参考) 前期実績 (2024年2月期 通期)	212,627	35,296	35,455	26,149	548.58

修正理由

当社グループの主要販売市場は北米及び欧州であり、住宅関連工事、生活インフラ整備工事、官民の建設投資に当社製品は使用されております。衣食住の「住」に深く関わり、エッセンシャル事業に必要な不可欠な当社製品の需要は、中長期的には安定拡大が見込めると考えておりますが、足元では4年ぶりにミニショベルの販売が減速しております。

前回発表予想におきましては、北米では根強い住宅需要、老朽化が進む生活インフラ、政策的な建設投資の拡大などを背景に、販売台数の大幅増を見込んでおりました。欧州では、長引く物価高による個人消費や住宅需要の低迷、地政学的緊張の高まりなどを背景に、住宅関連工事で主に使用されるミニショベルの販売台数が減少すると見込んでおりました。

上期におきましては、欧州のみならず北米においても、市場全体の建設機械の需要が減速しており、当社グループの販売台数は欧米ともに想定を下回りました。下期におきましても、欧米における市場全体の製品需要は上期と同程度を見込みますが、北米では、買入部品の不具合により一部のクローラーローダーの販売が下期にずれ込んだこと、及び新規顧客の獲得等の営業努力によって、販売台数は上期を上回ると予想しております。欧州では、英仏の販売子会社で持ち直しを見込みますが、欧州全体の販売台数は上期と同程度になると予想しております。以上により、2025年2月期の通期の販売台数は、昨年度に比べて北米で1.6%の増加、欧州で14.9%の減少、連結で8.6%の減少を見込んでおります。(前回発表予想では北米で17.2%の増加、欧州で10.2%の減少、連結で1.0%の増加)

この状況を踏まえて通期の連結業績予想を見直した結果、売上高は前回発表予想を下回る見込みですが、海上運賃の減少及び円安影響等により、利益面では前回発表予想を上回る見込みです。

なお、上期の実勢為替レート(期中平均)は、1米ドル=154.54円、1英ポンド=197.73円、1ユーロ=166.48円、1人民元=21.25円であり、下期の前提為替レートは、1米ドル=138円、1英ポンド=179円、1ユーロ=152円、1人民元=19.30円としております。

(ご参考)

単位：百万円

地域別売上高	前回発表予想		今回修正予想		
	上期予想	通期予想	上期実績	通期予想	増減率
日本	680	1,300	985	1,860	43.1%
北米	64,580	130,820	62,906	122,260	△6.5%
欧州	44,030	86,780	43,745	87,350	0.7%
アジア	70	130	49	150	15.4%
その他	2,640	4,970	1,919	3,880	△21.9%
売上高	112,000	224,000	109,606	215,500	△3.8%
営業利益	21,000	38,500	24,867	44,500	15.6%
経常利益	20,800	38,500	23,187	42,000	9.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,800	27,500	16,854	30,000	9.1%

2. 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上